

総務文教常任委員会

- ◆5月8日 愛知県高浜市 高浜小学校等整備事業について
- ◆5月9日 愛知県半田市 部活動地域移行と総合型地域スポーツクラブについて

高浜市は、小学校と公共施設を複合化し、教育・福祉・地域交流の拠点として再構築することで、放課後の児童の居場所、多世代交流、施設間連携を実現し、効率的な運用が図られました。また、PFI事業を活用し、財政支出の平準化を実現しています。

半田市は、令和6年9月より、中学校部活動の土日活動を地域へ移行し、総合型地域スポーツクラブ等と連携した体制を構築しました。教員の負担軽減と、地域の担い手育成を目的に、独自の補助制度や施設利用調整などの制度設計が進められています。今後の課題は、指導者の確保と、団体運営体制の強化を図るとのことです。



高浜市での視察の様子

環境厚生常任委員会

- ◆5月15日 沖縄県北谷町^{ちやたん} 北谷町避難行動要支援者名簿と個別避難計画について
- ◆5月16日 沖縄県那覇市 異動受付支援システムについて

北谷町では、令和3年度の「北谷町地域防災計画」見直しと「北谷町地域福祉計画」の同時期策定を機縁として、避難行動要支援者名簿の作成・活用と個別避難計画の作成について明確な町の方針を打ち出し、その後の条例制定を背景に実施に踏み切られました。避難行動要支援者名簿の作成では、本人の手上げ方式をとらず、拒否を示された方を名簿登載しない方式をとられたので、早い段階で名簿整備できたとのことでした。

那覇市では、住民異動窓口における課題解決のためにシステムを導入されました。導入前の課題としては、市民の異動届・他申請書等への記入負担が大きい、待ち時間が長い、窓口受付件数が毎年増加しているので書庫の編綴・保管・管理の負担が大きい、職員の業務負担が大きいといったものがあつたとのことでした。

改善が必要なところもあるそうですが、導入後は、記入負担の軽減、待ち時間の短縮、業務負担の軽減につながったようで、令和4年の市民アンケートでは、満足度100%とのことでした。



北谷町での視察の様子

建設経済常任委員会

- ◆5月14日 佐賀県唐津市 唐津市DXイノベーションセンターについて
- ◆5月15日 長崎県松浦市 松浦産業振興ビジョンについて
道の駅（海のふるさと館）について

唐津市DXイノベーションセンターは、コロナ禍の影響で変化した消費者行動やマーケットに対応する必要に直面する市内事業者の経営課題をデジタル技術で解決し、生産性を上げる支援をするため、令和4年7月に開設されました。時宜を得た事業は成果を上げ、現在はスタートアップ支援に軸足を移しつつ、当初の予定期間を越えて事業を継続しています。

松浦市の産業ビジョンは、大幅な人口減少という現実の中で「中小企業振興会議」が中核となって策定から評価を行うという意欲的な体制をとっています。アジフライで知られる松浦市の海のふるさと館は、道の駅にありがちな空間の無駄を排し、市域を越えた地域の産品を積極的に扱っています。合理的な健全経営で、目標のパート従業員時給5000円に近づいています。



唐津市での視察の様子